

ぱんだ・こあらだより

2月号

3歳児



ねらい

- ◎冬の健康な生活の仕方が分かり、自分でしようとする。
- ◎自分の思いを表したり、友達の思いに気付いたりしながら、遊ぶ楽しさを味わう。
- ◎冬の自然を身近に感じながら、氷、雪などに触れて遊ぶことを楽しむ。

内容

- 冬の健康な生活の仕方が身に付き、自分でしようとする。
(手洗い、防寒具の着脱や始末)
- 戸外で寒さに負けずに体を動かして伸び伸びと遊ぶ。
(鬼ごっこ、転がしドッジ、大縄 など)
- 友達と一緒に遊ぶ中で、相手にも思いがあることに気付く。
- 保育者や友達に自分の考えや感じたことを話そうとする。
- 雪、氷、霜柱などを見たり触ったりして、身近な自然現象に興味をもつ。
- 手遊びや集団遊びをしたりして楽しむ。
(豆まき、鬼のパンツ、色鬼バスケット) など



お正月遊び



新学期が始まり、冬休みの間ご家庭で遊んだ話をたくさんしてくれました。

コマ回しでは、糸が上手に巻けず苦戦する子が多くみられましたが、何度も繰り返し挑戦することで、自分の力で糸を巻いて回すことができるようになりつつあります。

福笑いでは、パーツの名前を伝えながら友達に手渡ししています。出来上がった面白い顔にみんなで大笑い！お正月遊びを通して、友達と一緒に遊ぶ楽しさやできた時の達成感を味わっています。



朝の元気タイム



登園後、朝の準備をしたら、園庭へ出かけていきます。霜や氷などを見つけて「冷たい！」「雪みたい」と言ったり、育てている苺やチューリップの生長の様子を眺め、水やりをしたりしている子どもたち。冬期の自然を肌で感じながら過ごしています。

体操の時間になると全園児が集まってきて、『おでんぐつつ体操』や友達の背中をぐしぐしこすり合う『こすれこすれ』で、一列に並び楽しそうにこすり合いっこをしています。

その後のかけっこを終える頃には、みんな上着が必要ない程、体が温かくなり、その後も寒さに負けず元気に遊んでいます。



こすれーこすれー
こすこすれ〜♪

